

第30回国際連帯行事 (ISA)

2014年4月25日～5月2日

A. テーマ

「ISAにおける労働者の国際連帯の30年：教訓を引き出し、前に向かって進もう」

B. 背景

1984年以來、ISAはフィリピンの進歩的な労働組合センターである5月1日労働運動(KMU)によって開催されてきました。様々な国の数多くの労働組合、労働者の連合組織、労働者協会、労働者の権利擁護に取り組む人々が、互いの経験を共有し、結社の自由や団体交渉権、生活賃金の権利、雇用確保など労働者の権利のためのたたかいのなかで団結を育んできました。ISAは絶えず労働組合弾圧とたたかってきました。ISAは労働者と労働運動に対する新自由主義攻撃とのたたかいのなかで、国際労働者階級の団結を打ち固めてきました。

C. 第30回ISAの活動

エキスポージャー・プログラム
各国のたたかいの共有
ISAから教訓を引き出す
マニラでのメーデー集会

D. 第30回ISAの目的

1. エキスポージャーやフィリピン各地の労働者との交流、マニラでのメーデー・動員への参加を含む30年間のISAの取り組みの経験を提示し、教訓を引き出すこと。また、そのプロセスのなかで様々な国での国際連帯活動における経験と教訓を引き出すこと。
2. ISAをより前進させ(他の国での開催を含む)、強まる新自由主義攻撃のただなかで労働者の連帯の構築を支援するための計画について議論すること。
3. 様々な国の労働者の状況とたたかいを共有すること

E. 活動概要

4月25日 到着
4月26～28日 エキスポージャー
4月29～30日 ISA会議
5月1日 メーデー集会(終日)
5月2日 出国

F. エキスポージャー (説明略)

第30回ISAのエキスポージャー・プログラムの目的はフィリピンの労働者の状況について、参加者が直接にフィリピンの労働者より情報が得られるようにすることです。参加者はまた、自分たちの国の状況をフィリピンの労働者たちと共有しあうことも求められるでしょう。訪問先は以下の地域です。

1. 東ビサヤ

(昨秋に超大型台風ハイヤンーフィリピンではヨランダーによって壊滅的な打撃を受けた地域)

2. ミンダナオのカラガ

(パーム油のプランテーション労働者との交流)

3. 南部タガログ

(マニラ首都圏のすぐ南に位置する地域。輸出加工区の労働者との交流)

4. マニラおよびリサール

(動物農場や中小企業労働者との交流。労働者のコミュニティーの訪問)

G. 会議日程 (略)

H. 参加者への財政支援 (略)

I. 登録費

登録費 (会議参加費) 400 米ドル

会議+東ビサヤ/ミンダナオ 700 ドル

会議+南部タガログ 435 ドル

会議+マニラ 420 ドル

J. 事務局

Ms. Miles Quero-Asa KMU国際部長

Email: kmu.intl.@gmail.com

本人の携帯電話 0063-9155179413

Ms. Sol Miranda

KMUの電話・ファックス 00-63-2-421-0986